

様式10（会派用）

行政視察（研修）報告書

令和5年3月13日

南魚沼市議会議長 様

会派名 未来創政会

代表者名 中澤 一博 印

下記のとおり、視察（研修）が終了したので報告します。

視察（研修） 参加議員名	中澤一博、永井拓三、大平剛
期 間	①令和4年10月21日（金） 13時30分 ～ 15時30分 ②令和4年10月22日（土） 13時00分 ～ 14時00分
視察（研修）先	①豊橋市（中島処理場） ②豊橋市（道の駅とよはし）
視察（研修） 事 項	①バイオマス資源利活用についての調査研究 ②道の駅とよはし見学
視察（研修） 先 面 会 者	①豊橋市上下水道局下水道施設課 正岡主幹 大井専門員
概要及び所見	別紙のとおり

別紙

概要及び所見

概要

令和4年10月21日

豊橋市中島処理場にて施設見学・質疑応答を含め2時間程の視察を行う

所見

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業は、PFI手法を導入し、国内最大規模の複合バイオマスエネルギー化施設を運営しており、国内外より高い評価を受けている。

バイオマス資源を100%エネルギー化・温室効果ガスの削減・処理コストの削減等の事業実施効果は参考にするべき点が多かった。同時にゴミ分別を11分別にするなど市民の理解と協力がなくては出来ない事業であったことも考慮すべきであり、当市でも今後のゴミ処理にあたっての参考にするべきであろう。注意すべき点として、施設建設に関わる費用は立地条件によって変わる点、事業を行う範囲・対象人口に応じて利益率が変わる点を加味しなければならない。そのことから、この事業をそのまま当市を持って来ても同じ効果は得られないだろう。

概要

令和4年10月22日

道の駅とよはしにて施設見学を含め1時間程の視察を行う

所見

土曜日という事もあり、駐車場は7割程度埋まっており、子供・幼児を連れた利用者の姿も見られた。あぐりパーク食彩村は愛知県下最大規模の農産物直売所であり、駐車場の車のナンバーから推察するに、地元の利用者も大勢いるようであった。安定経営の観点から地元の利用者は重要であると考え、当市においてはどうか調査する必要があると感じた。

食事に関しては5店舗有り、その内3店舗は豊橋の名物料理を前面に出していた、イートインスペースは60席程有りほぼ満席であった。当市の道の駅は食事処は1店舗であるが、当市の名物といえばコシヒカリであり、他の店舗を出すにしてもどう差別化を図るか考える必要が有るだろう。